

汚染物処理の手順

あらかじめ用意するもの

- 使い捨て手袋・エプロン・帽子・マスク・靴カバーなど
- ペーパータオル、ビニール袋、ビニールシート、きれいな雑巾、塩素系漂白剤、ペットボトルなど
- 消毒液（1,000～5,000ppm 次亜塩素酸ナトリウム）を作製する。

● 塩素系漂白剤を用いた次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方

ペットボトルのキャップには約 5ml 入ります。

キャップを利用し塩素系漂白剤（6%の塩素を含む）をペットボトル（500ml）に入れ、水でボトルをほぼいっぱいにすると、次亜塩素酸ナトリウム希釈液（消毒液）を作ることができます。

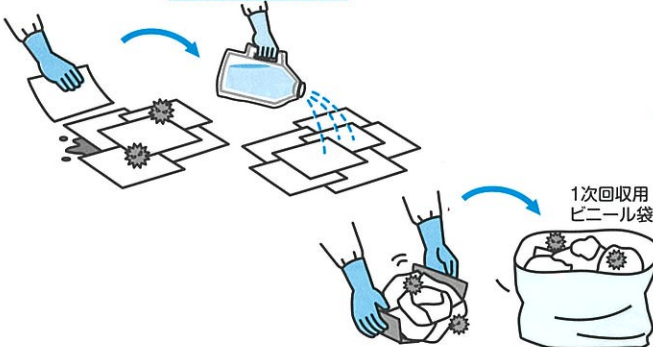
ペットボトルの水（500ml）に対し塩素漂白剤の量

キャップの量	次亜塩素酸ナトリウム希釈液
キャップの半分 =約 2.5 ml	300ppm (200 倍希釈)
キャップの1杯分 =約 5 ml	600ppm (100 倍希釈)
キャップの2杯分 =約 10 ml	1,200ppm (50 倍希釈)

手順 1 汚染物周囲から、ヒトを遠ざける。

手順 2 使い捨て手袋*・エプロン・帽子・マスク、靴カバーを着用する。*手袋は2枚重ねる。窓があれば、開放する。

手順 3 1次回収用ビニール袋の口を開け、消毒液を少量入れておく。ペーパータオルで汚染物をおおい消毒液をかける。厚紙を用いて周囲から汚染物を包み込むように、ぬぐい取り、1次回収用ビニール袋に廃棄する。可能なかぎり、床に汚染物を残さない。



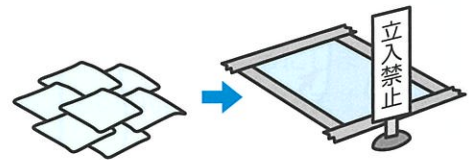
手順 4 次に作業の際に汚染物の付着した外側の手袋をはずして同様に廃棄し、1次回収用ビニール袋の口をしっかりと結び、2次回収用ビニール袋に入れる。



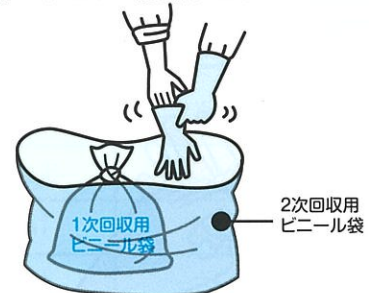
手順 5 汚染物を取り除いたあとをペーパータオルでおおい、消毒液を注いで10分間放置後に取り除く。次にさらに広めにペーパータオルでおおい、消毒液を注いで30分後に取り除き、2次回収用ビニール袋に入れる。



手順 6 汚染物の中心から半径約 2m を汚染区域と設定し、消毒液を浸したきれいなペーパータオルでおおう。その上に廃棄用ビニールシートをおおい、周囲をシールする。汚染区域の立ち入りを制限し、一夜放置する。



手順 7 エプロン・手袋等の防護装備を外して、2次回収用ビニール袋に入れる。2次回収用ビニール袋の封をして、可燃ごみとして廃棄する。



手順 8 洗剤・流水による手洗い、うがいを行う。セットの物品を補充する。



翌日

手順 1 使い捨て手袋を着用し、放置したペーパータオル等を集めてビニール袋に入れて廃棄する。制限区域を解除する。

手順 2 洗剤・流水による手洗い、うがいを行う。

ノロウイルス汚染への対処法・基本的な考え方

- ① 汚染物を極力取り除き、ウイルスの量を減らすことを考える
- ② 熱を加えることができるものに対しては、加熱することを考える
- ③ 消毒剤を使用し、残ったウイルスを不活化することを考える